

- ① 学校利用指導者研修会及び少年団体等利用指導者研修会等の指導者のための研修会では、研修目標の具現化のためのプログラムの編成と実技研修に重点を置いて実施し、利用効果の向上に努めてきた。
- ② 登山、キャンプ、雪のつどい等の親子のつどいは毎回創意工夫、改善を加え魅力あるつどいにするよう努め、好評を得て所期のねらいを達成することができた。
- ③ 今年度の新規事業として実施した「自然に鍛える少年のつどい」の「少年サマーキャンプ」、「少年ウィンターフェスティバル」は、野性味と手づくりの生活体験を主眼に実施した。夏冬2回の自然体験、交流を経て、強い絆と友情が生まれ所期の目的を達成することができた。
- (6) 安全管理の徹底
- ① 安全管理の徹底を期すため、施設・設備の安全点検エリアパトロールを定期的に実施し、利用者の安全確保と事故防止に努めてきた。
- ② 食中毒を防止するため毎日定例日に給食委託業者との打合せ、厨房等の点検を継続実施してきた。

3 職員組織

職名	所長	次長	主事	主任 指導主事	指導主事	社会教育 主事	運転手兼 用務員	計
人員	1	1	2	1	3	1	1	10

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山54番地

2 敷地面積

約330,000m²

3 建物面積

延 3,801.82m²

4 宿泊定員

- ・本館 166名(14室) ・和室(8畳1)
- ・ロッジ 180名(9棟、テント6人用40張)

5 施設・設備等

施設	設備及び研修用備品
研修室 (60人用2室)	(1室はプレールーム兼用) 暗幕、16ミリ映写機、幻灯機、O.H.P. 鉱物標本、学習用図書、張子の面木型 (200個)、テレビ(1台)
中央ホール なかよしホール	エレクトーン、ステレオ、燭台、旗掲揚塔、休憩用いす・机、自動給湯機
食堂 (328.6m ²)	収容人員 166名、冷蔵庫(2)、給湯機、厨房室

施設	設備及び研修用備品
乾燥室 (66m ²)	温風暖房機、脱水機、ハンガー(200個)
体育館 (543m ²)	卓球台(7台)、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、綱引用綱、ビアノ、燭台、放送機、
総合活動館 (522m ²)	サーキット設備(20種目)、エレクトーン、燭台、セフティーマット、放送機
野営場	ロッジ(9棟、各34m ²)、野外活動センター(91m ²)炊飯用具 180人分、テント40張、放送機、舍監室、炊飯場2棟各10かまど、テントサイト、便所(2)、洗面所、薪置場、野外活動事前指導用ベンチ、食卓(18卓 180人)
プール	25m×15m(7コース)、更衣室、シャワー便所、清毒槽、循環ろ過装置
野外施設	キャンプファイヤー場(3)、つどいの広場(2)つどいの丘、緑の広場(11,000m ²)そり場、サーキットコース、フィールドワークコース、オリエンテーリングコース、ウォークラリーコース、自然観察コース、コンパスラリーコース、ナイトハイキングコース、登山コース、自然遊歩道、東屋等
その他の備品	天体望遠鏡、レコードプレーヤー、テープレコーダー(2台)、アコーディオン(2台)、トランシーバー(2台)、ハンドスピーカー(2台)ギター(2台)、ソフトボール用具一式、そり(200台)、オリエンテーリング用具一式、伝承遊具、もちつき用具一式

第3節 利用状況

少年自然の家を利用する団体は次のように大別される。

1. 小学校、中学校、養護学校の児童生徒及び引率者
2. 少年団体等の構成員及び引率者
3. その他所長が認めた団体

本年度の利用団体は279団体、利用延人数は49,192人である。その利用状況は次の通りである。